

令和6年度経営方針

高根沢町長 加藤 公博

ここ数年は、各種施策の推進により人口減少の勢いが緩やかになっていましたが、近年、価値観の多様化等を背景に、婚姻率が低下し、これに伴い出生率も低下しており、200人台を維持していた出生者数が令和4年度はじめて200人を下回りました。また、令和4年度は死亡者数も増加しており、人口の自然減が進む一方、依然として高齢化率は上昇しており、人口減少・少子高齢化が進行しています。

この状況下においても、町のタグライン「自然を吸い込む、街の音が聴こえる」にあるよう、多くの人々が住みやすい、住み続けたい、関わりたいと感じるまちを守っていくために、令和6年度の計画推進・予算編成にあたり、留意すべきことを以下のとおり示します。

令和6年度の計画推進

令和7年度（2025年度）に計画期間の終期を迎える「地域経営計画2016後期計画」並びに「第2期 まち・ひと・しごと創生総合戦略」の仕上げに向けた取組みを進める重要な年と位置付け、目標達成のために、最適かつ効果的な事業を展開するとともに、次期計画の策定を見据えた計画執行を行ってください。特に、喫緊の課題である以下の取組みを重点的に推進するので、職員一人一人が組織のビジョン、目標を共有し、そこでの自分の役割を認識し、目標達成に向けて努力し、そして責任感を持って取り組んでください。

重点取組事項

- ✓ 新庁舎の整備と公共施設の適正化
- ✓ 脱炭素社会と防災・減災の推進
- ✓ 業務改革とデジタル化の推進

令和6年度の予算編成

学校施設の修繕や都市計画道路の整備、新庁舎の整備などに加えて、公共施設を含めたインフラの老朽化への対応により、地方債残高は令和7年度以降大幅に増加する見通しとなっています。

一方、人口減少や少子高齢化の進行により、社会保障費の増大や町税の減収が見込まれるとともに、地域課題の複雑化、多様化もさらに進み、将来予測が難しくさまざまな分野で不確実性が高まっており、これからの時代にふさわしい行財政運営の実現が急務となっています。

そのため、令和6年度の予算編成にあたっては、「適切な行政サービス水準」と「最適な行政サービスの提供手法」を見極め、以下の観点から事業を再構築することで、持続可能な行財政運営に取り組むこととします。

予算編成の留意点

- ✓ 緊急性の高い事業は直ちにに取り組むこと
- ✓ 中長期的な課題に対し計画的に事業に取り組むこと
- ✓ 既存事業について見直しを実施し、必要に応じて廃止を決断すること